

## 1 安心して暮らせる福祉サービスをめざそう

第2次入間市地域福祉計画では、福祉における行政サービスの統合を引き続き目指し、既存組織間の情報共有や、問題解決に向け連携した取組みができるよう、定期的な情報交換や発展的な議論の場を設け統合に向けたネットワーク強化に努めていくとしています。

そのため、入間市地域福祉推進庁内連携会議を設置し、庁内関係課長職による連携会議が実施されています。更に、入間市地域福祉推進専門職情報交換会を設置し、それぞれの相談を受けている専門職による情報交換会が開催されました。この専門職情報交換会は、市福祉部及び健康福祉センターの各課の他、入間市社会福祉協議会や地域包括支援センター等の職員で構成されており、複合的問題解決に取り組むことを目指しています。

平成27年4月からは、児童福祉の分野や介護保険、生活困窮者への支援の分野等で制度の改正も行われることから、新制度に関する情報を各組織間で共有すること等を通し更なる連携強化が必要と考えます。

また、社会福祉協議会への支援としては、地域福祉コーディネーターの配置にあたり、入間市地域福祉基金からその配置に必要な費用として補助金が支出されました。平成27年度以降も地域福祉コーディネーター配置に必要な費用を入間市地域福祉基金から拠出していく計画です。

この入間市地域福祉基金は、平成4年度に設立されたものであり、平成26年度から原資を取り崩しての運用ができる様になりました。この基金へ平成26年度には多額の寄附が企業や市民等から寄せられています。地域福祉向上に対する企業、市民の思いに感謝すると共に大きな期待が寄せられていることを実感するところです。

地域福祉基金は地域福祉の向上のため、より有効に活用されることを期待します。

活動拠点については、地域住民の総意で決定した活動場所の確保に取り組むことが計画に示されています。平成26年度では、豊岡第二地区支え合い活動拠点確保に向けた公民館との調整が行われましたが、活動拠点のスムーズな確保が出来ない状況でした。今後は活動拠点の確保に向け円滑な施設利用ができるよう市の調整役としての対応を期

待します。

## 2 一人ひとりのふれあいを大切にしよう

地域に存在する資源の横断的連携強化としては、平成26年11月に金子地区において、「認知症徘徊者への声かけ模擬訓練」が行われました。これは、市民ボランティア団体「つながろう入間」と市の協働事業として、4年間「認知症サポーター・フォローアップ講座」を実施してきましたが、今回、この取組みから金子地区を会場として、「安心して徘徊できるまちづくり委員会」が中心となり、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるまちを目指して行われたものです。協働事業としての「徘徊模擬訓練」は、県内では初めての試みとなりました。

地域に存在する資源の横断的連携強化の良い事例として、今後の継続実施が望まれます。

## 3 みんなで福祉を支える地域をつくろう

担い手やリーダー育成に向けた取組みとしては、生涯学習部においては、青少年活動の担い手育成に積極的な取組みが行われています。しかしながら、地域福祉における担い手やリーダー発見の取組みは充分とはいえません。交流の場の確保に関する事業であるサロン活動や子どもの居場所作りなど様々な機会を捉えて、リーダーの発見、育成、ボランティアの活用を図ることを望みます。

## 4 まちづくりにつなげよう

災害時要援護者の安全確保に関する取組みとしては、地域防災計画に基づく災害時の避難行動要支援者に関する計画策定が進められています。計画策定後の具体的な個別支援の早期実施が望まれるところです。

また、住民が主体の地域づくりとしては、市内9地区で市・社協・近隣助け合い活動推進会の共催で「地域福祉懇談会」が実施され、合計445名の方々に参加いただき、地域福祉向上を目指した内容の話し合いが行われました。

平成26年度には、東藤沢地区に続き市内2つ目の地域ささえ合い活動として、「豊岡第二地区元気にする会」が6月に発足したところですが、今後の「地域福祉懇談会」の開催にあたっては、既に設立され活動を実施しているささえ合い活動の具体的な活動実態等を示すこと等により、地域における福祉推進活動のより実践に向けた内容に関する話し合いが行われることが望ましいと考えます。

一方で、地域福祉の実現には地区ごとの実情に合わせた取り組みが行われることが必要であり、地区ごとの実情を丁寧にくみ上げるという点への配慮も忘れてはなりません。

以上、平成26年度の入間市地域福祉計画における主な進捗状況を考察しましたが、平成26年度は計画初年度でもあり、計画の周知に重点が置かれました。

「元気ないるま福祉プラン」を民生委員・児童委員、地域包括支援センター、区長会等に配布すると共に、その内容の概要版を作成し計画内容の説明が行われました。

また、「元気ないるま福祉プラン」の市ホームページ掲載や市報特集が掲載され、民生委員地域福祉部会においても内容説明が行われましたが、今後も「元気ないるま福祉プラン」の周知に引き続き努めると共に、地域福祉の向上のため、既存組織間での更なる連携強化への取り組みが必要であると考えます。

また、地域におけるささえ合い組織の構築にあたっては、市と社会福祉協議会の一層の連携強化が必要であると考えます。

平成27年6月4日

入間市地域福祉計画進行管理委員会